

平成26年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 樋上博憲

○ 平成26年度重要事業

事業名	市街地整備の推進
目標	都市再整備計画に基づき平成22年度から小杉地区の市街地で進めてきた道路改良や公園改修などを完成します。 また、新たに、越中大門駅前の機能強化やアクセス改善に向け、駅前広場の基本計画の策定、並びに都市計画道路駅前線の設計に着手します。
進捗状況	小杉地区の道路改良や公園改修については、現在、鋭意整備を進めています。駅前広場については、基本計画策定に向け関係機関との協議中です。都市計画道路駅前線の設計に関しては、基本設計による地元関係者への説明を終え、都市計画の変更手続きを進めています。
今後の対応	小杉地区については、事業の早期完成に努めます。 都市計画道路駅前線については、引き続き実施設計に着手するため、都市計画の変更及び事業認可の早期取得に努めます。

事業名	安心な社会資本の構築
目標	引き続き道路施設の総点検を行い、橋梁の耐震化及び長寿命化工事や痛みの著しい幹線道路の舗装補修工事を進めます。 また、急傾斜地などでは、がけ崩れなど土砂災害未然防止の対策工事を行い、防災・減災対策を推進します。
進捗状況	継続的に照明灯及び橋梁の点検を実施し、点検結果に基づき橋梁の補修・耐震化工事及び市道の舗装補修を計画的に進めています。急傾斜地では、昨年度に引き続き、崩壊対策工事を進めています。
今後の対応	道路施設の総点検結果に基づき、安全・安心な道路交通の確保に向け計画的な維持管理に努めます。 また、引き続き土砂災害警戒区域の防災・減災対策を進めます。

事業名	空き家対策の推進
目標	空き家対策として、今年度から各種助成制度を設け、老朽危険空き家の解消に努めています。更に、「射水市空き家等適正管理及び有効活用に関する条例」を制定し、計画的に空き家対策を推進するための「(仮称)射水市空き家対策協議会」を設立します。
進捗状況	今年度から設けた「老朽危険空き家解体補助制度」の予算額に対する利用率は、既に70%に達しています。また、「射水市空き家等適正管理及び有効活用に関する条例」も10月1日より施行しています。なお、「(仮称)射水市空き家対策協議会」については、活発な議論ができる組織の構成と協議会で諮る内容を精査しています。

今後の対応	今後も助成制度の活用を促し老朽危険空き家の解消に努めるとともに、「射水市空き家等適正管理及び有効活用に関する条例」に基づき、適切な管理や有効活用が履行されるよう助言、指導等を行います。また、活発な議論ができる「(仮称)射水市空き家対策協議会」を設立します。
--------------	--